

臨床心理学特別演習

4単位 (必修) 2年 (通年)

佐藤 健二・教授 / 臨床心理学専攻

【授業目的】 演習を通して、修士論文のテーマ設定、実験あるいは調査手続きの考案、実施、データ解析、執筆など、一連の論文作成について学ぶ。

【授業概要】 本演習では、修士論文作成のための指導を、主に臨床社会心理学、認知行動療法の観点から行う。すなわち、臨床社会心理学の観点から捉えることが有意義なテーマについて、学生が、問題提起、計画立案、データ収集・解析、考察、執筆することが出来る能力を養成することを目指す。具体的なテーマとしては、トラウマを開示することが心身の状態に及ぼす影響、社会不安障害の認知行動モデルなどである。

【キーワード】 心理臨床的視点、調査研究、実験研究

【履修上の注意】 受講生は、各自研究課題を考える。研究テーマは、心理学的手法を用いた臨床心理学に関する内容とする。受講生各自が、修士論文を進めていくこととする。各指導教員の主な指導領域については、募集要項などに示している。授業においては、指導教員による個別指導と受講生同士のグループ討議などで研究内容の検討を行う。

【到達目標】 修士論文作成に必要な能力を養成する

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 研究テーマの選び方 1:概観
3. 研究テーマの選び方 2:文献展望の方法論
4. 研究テーマの選び方 3:先行研究の批判的読解と問題提起の方法論
5. 研究構想の立案、発表、検討 1
6. 研究構想の立案、発表、検討 2
7. 研究構想の立案、発表、検討 3
8. 修士論文中間発表
9. データ収集と解析の方法論 1:観察
10. データ収集と解析の方法論 2:調査
11. データ収集と解析の方法論 3:実験
12. 考察と執筆 1:設定された研究目的と得られたデータとの照合
13. 考察と執筆 2:得られたデータの先行研究、研究史上への位置づけ
14. 研究成果の発表 1:データ・プレゼンテーションの方法論
15. 研究成果の発表 2:学会・研究会などにおけるプレゼンテーションの方法論
16. 研究成果の発表 3:学会誌などへの投稿、公刊の方法論

【成績評価】 受講態度、授業時の文献、研究計画等の発表状況等を総合的に勘案

し、評価を行う。

【再試験】 無し

【教科書】 特に使用しない

【参考書】 必要に応じて配布する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218207>

【連絡先】

⇒ 佐藤 (3S05, 088-656-7202, satoken@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 12:10-12:40)